

開館時間=9:30~18:00 (入場時間は17:30分まで)
 休館日=月曜日 *ただし3月20日(月・祝)開館、3月21日(火)休館
 入場料=一般800円、前売・団体(20名以上)600円
 中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付添いの方1名は無料
 一年間有効フリーパス=「ハイティーンパスH.T.P.」1,000円(対象15歳以上20歳未満)
 「おとなのパス」2,500円(対象20歳以上)

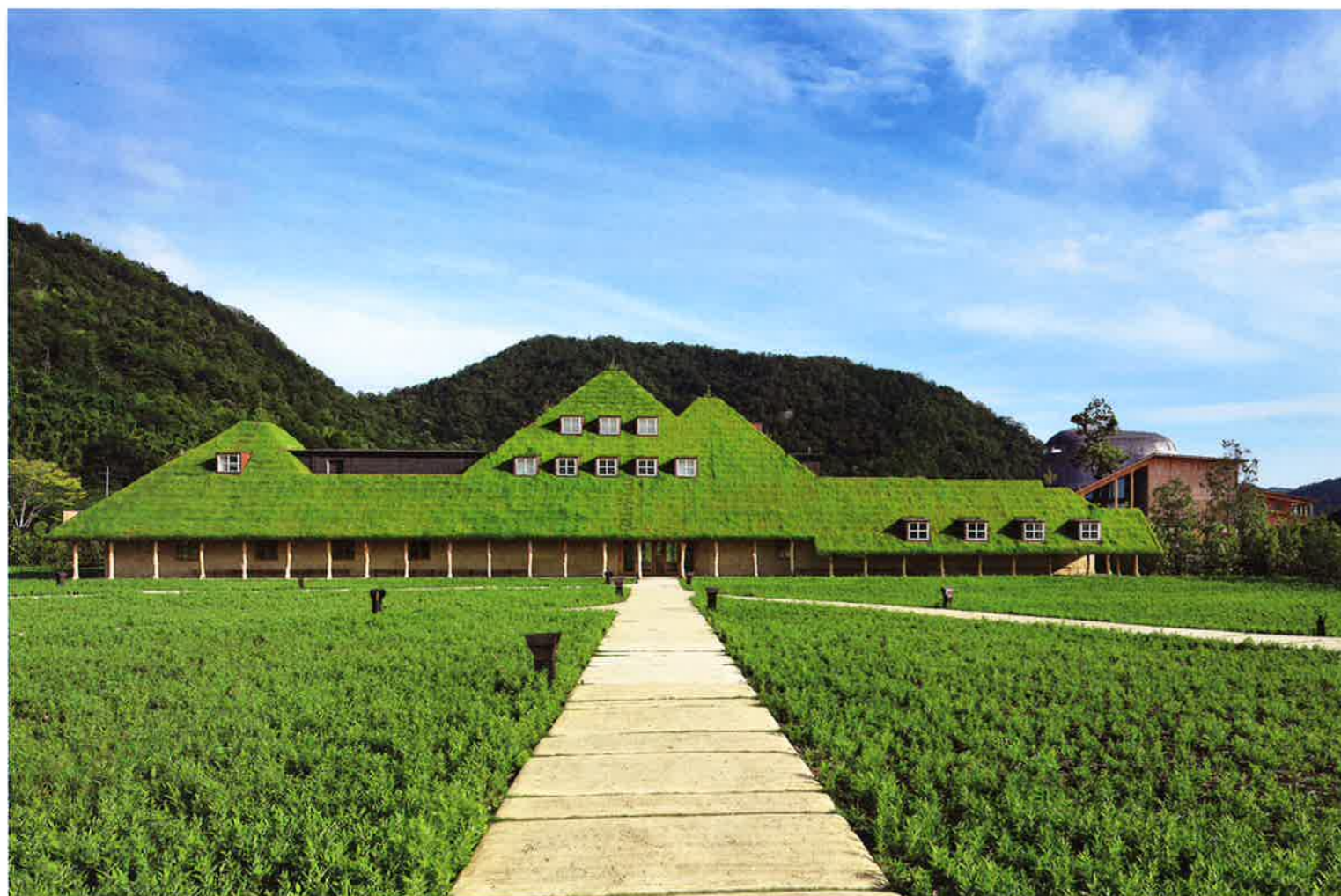
主催=公益財団法人水戸市芸術振興財団
 特別協賛=たねや 協賛=一般財団法人たじみ・笠原タイル館、秋村田津夫
 協力=アサヒビール株式会社、茅野市美術館、
 多治見市モザイクタイルミュージアム、エルメス財団、筑波大学員島研究室、
 水戸商工会議所、ラムネ温泉館、神勝寺、株式会社ジェネラルハードウェア、
 細川事務所、永青文庫、公益財団法人常陽藝文センター、310食堂、
 泉町二丁目商店街振興組合、VILLAGE310、路上観察学会、同文社

藤森照信展

自然を生かした

TERUNOBU
FUJIMORI

ARCHITECTURE WITH NATURE,
AND "ROJO"



水戸芸術館
ART TOWER MITO

表紙=『朝日新聞』ラフォーテ近江八幡(たねや社様) ©Nacása & Partners Inc.
 裏表紙=『朝日新聞』ラフォーテ近江八幡 ©Nacása & Partners Inc.

お問合せ=水戸芸術館現代美術センター
 〒310-0063 城東水戸市五軒町1-6-8
 Tel.029-227-8120 <http://arttowermito.or.jp/>

交通のご案内
 [JR] 上野駅(品川、東京発もあり)から常磐線特急で約65~85分、水戸駅下車。
 北口バスターミナル4~7番のりばから「泉町一丁目」下車、徒歩2分。
 [高速バス] 東京駅八重洲南口バスターミナルのりばから常磐高速バス
 (赤塚又は茨大ルート) 水戸駅行きで約100分「泉町一丁目」下車、徒歩2分。
 [お車] 常磐自動車道水戸ICから国道50号線を水戸市街地方面へ約20分。
 水戸芸術館地下の市営五軒町駐車場をご利用ください。駐車場入口は芸術館北側東端です。
 料金=30分まで無料、1時間まで200円、以下30分毎100円 営業時間=7:00~23:00



た建築

と
ロ
ジ
ョ
ウ

2017年
3月11日(土)~
5月14日(日)
水戸芸術館
現代美術
ギャラリー

と路上観察

1946年生まれの藤森照信は、高校卒業まで長野県茅野市で過ごし、東北大学、東京大学大学院に進学。近代建築史・都市史研究の第一人者として多くの業績を残したのち、45歳で神長官守矢史料館（長野県茅野市、1991年）を設計、建築家としてデビュー。以後、約25年のあいだに40余の独創的な建築作品を創り続けてきました。

屋根にタンポポやニラが植えられた住宅、皮付きの木材を柱にした鳥の巣箱のような茶室など、藤森照信の作品は、建築の通念を軽やかに超えた新しさと、遠い過去を想起させる懐かしさを併せ持つ、きわめて独創的な建築として知られています。

本展では、建築と自然との関係を取り戻すべく藤森が取り組んできた「自然素材をどう現代建築に生かすか」「植物をどう建築に取り込むか」というテーマから、代表的な建築をスケッチ、模型や写真で紹介するとともに、これまで手掛けた建築の屋根・壁・左官等の素材見本、家具などを展示し、建築家・藤森照信の仕事をご紹介します。



藤森照信（ふじもりてるのぶ）

建築家、建築史家。昭和21年長野県生まれ。東北大学建築学科卒業後、東京大学大学院博士課程修了。東京大学生産技術研究所教授、工学院大学教授を経て、現在は、東京大学名誉教授、工学院大学特任教授、江戸東京博物館館長。専門分野は建築史、45歳より設計を始め今に至る。近作に、『多治見市モザイクタイルミュージアム』、『草屋根』、『銅屋根』（近江八幡市、たねや総合販売場・本社屋）、史料館・美術館・住宅・茶室など建築作品多数。近著に、『磯崎新と藤森照信の茶席建築談義』六耀社、『藤森先生茶室指南』彰国社など、建築史、建築探偵、建築設計活動関係著書多数。



藤森照信展

自然を生かした建築

TERUNOBU FUJIMORI ARCHITECTURE WITH NATURE, AND "ROJO"



フジモリ
ケンチク
と
ロジヨウ



1 ●『多治見市モザイクタイルミュージアム』 撮影：増田彰久
2 ●『多治見市モザイクタイルミュージアム』 内観 撮影：増田彰久
3 ●『草屋根』 内観、ラ・コリーナ近江八幡(たねや本社屋) ©Nacasa & Partners Inc.
4 ●『銅屋根』 ラ・コリーナ近江八幡(カステラショップ) ©Nacasa & Partners Inc.
5 ●『草屋根』 内観、ラ・コリーナ近江八幡(たねや総合販売場) ©Nacasa & Partners Inc.
6 ●『高松陣』 撮影：増田彰久

と路上観察

◎関連企画

水戸路上観察学会総会

赤瀬川原平、藤森照信、南仲坊、松田哲夫、林丈二らを中心に、マンホール、エントツ、看板、ハリガミ、建物のカケラなど、身の周りのあらゆる事物を観察の対象として、無目的かつ無意識的な路上の物件の面白さをあがまに観察しあるいは採集・鑑賞する団体として1986年に結成された路上観察学会。本企画では路上観察学会員の講演、先だって開催された水戸路上観察ワークショップの講評などを通し、水戸の魅力を再発見する路上観察学会の総会を開催します。
日時=3月11日(土) 13:30~15:30(開場13:00) 会場=みと文化交流プラザ6階(茨城県水戸市五軒町1-2-12)
定員=200名(先着順・予約不要) 料金=無料
パネリスト(路上観察学会員)=松田哲夫(事務局長、編集者・筑摩書房顧問・元「王様のランチ」コメンテーター)、藤森照信(建築家・建築史家)、林丈二(著述家・イラストレーター・明治文化研究家)、南仲坊(イラストレーター)、一木努(歯科医師)

「たねや農藝」のお話 「農はアート!」

「藝」という文字は「植物に手を添え植える」という意味があります。お菓子の素材は「農」に育まれ、手を添えることによって「藝」となるとの考えに沿い、「たねや農藝」の仕事はよもぎや野菜、お米の栽培、また四季の山野草で季節を感じていただく寄せ植えを店舗に展示すること、自然のサイクルを生かした藤森建築及び樹木を管理・維持することなど多岐にわたります。たくさんの人々とともに四季に寄り添う「たねや農藝」の活動を紹介します。
講師=「たねや農藝」スタッフ 日時=3月18日(土) 14:00~15:00(開場13:30) 定員=30名(先着順・予約不要)
会場=水戸芸術館現代美術ギャラリー内ワークショップ室 料金=無料(別途展覧会入場料が必要になります)
*終了後、苔玉づくりのワークショップを行います。詳細は当館ホームページ及び高校生ウィーク2017チラシをご参照ください。

フジの茶事-せん茶会

藤森照信氏設計の新作茶室《せん茶》にてお茶会を催します。水戸で活動する茶道家 境貞晴氏によるお抹茶とたねやのお菓子をご提供します。
亭主=境 貞晴(茶道裏千家) 日時=3月19日(日)、4月2日(日)、16日(日)、5月7日(日)、14日(日) 各日13:30~15:00~
定員=各席5名(当日9:30よりチケットカウンターにてチケットを販売します) 参加費=500円(別途展覧会入場料が必要になります) *詳細につきましては当館ホームページをご参照ください。

多治見市モザイクタイルミュージアム 各務寛治館長 講演会

「誰も知らないモザイクタイルの故郷のお話」
近年、DIYブームとともに昭和レトロの雰囲気を感じずモザイクタイルが人気を集めています。本講演では藤森照信氏が設計し2016年6月にオープンしたばかりの多治見市モザイクタイルミュージアム館長 各務寛治氏より、日本のモザイクタイルの歴史と発展、その魅力についてお話しいただきます。
講師=各務寛治(多治見市モザイクタイルミュージアム館長) 日時=4月8日(土) 14:00~15:00(開場13:30)
会場=水戸芸術館現代美術ギャラリー内ワークショップ室 定員=30名(先着順・予約不要) 料金=無料(別途展覧会入場料が必要になります) *終了後、モザイクタイルのワークショップを開催いたします。詳細は当館ホームページをご参照ください。

藤森照信 講演会

本展出品建築家・建築史家の藤森照信氏による講演会を開催します。21世紀建築は自然との関係が大きな課題の一つとなっています。自然素材をどう現代建築に生かすか、植物をどう建築に取り込むか、この二つのテーマに長年取り組んできた藤森氏の試行についてお話しいただきます。
日時=4月9日(日) 14:00~16:00(開場13:30) 会場=水戸芸術館会議場 定員=80名(先着順・予約不要) 料金=無料

水戸路上観察 街なか展示

本展会期中、昨年11月に開催された水戸路上観察学会ワークショップの参加者の採集物件(路上観察で撮影された写真)のうち、路上観察学会員による審査を経て選出されたものを街なか展示します。詳細は当館ホームページをご参照ください。

◎展覧会関連 教育プログラム *記載がない場合、料金は展覧会入場料に含まれます。

ウィークエンド・ギャラリートーク

市民ボランティアCACギャラリートークとともに展覧会を鑑賞します。
期間=3月25日(土)~5月14日(日)期間中の毎週土・日曜日 各日14:30~(約40分) 会場=水戸芸術館現代美術ギャラリー
*都合により中止になる場合がございます。4月8日(土)、9日(日)は関連企画実施のため中止。

高校生ウィーク2017

高校生を対象にした毎年恒例の展覧会無料招待企画です。期間中にギャラリーの途中に出現するカフェでは本展と連動したワークショップや読書、裁縫などさまざまなプログラムが毎日楽しめ、高校生に限らずどなたでもご利用いただけます。詳細はチラシやホームページをご覧ください。
期間=3月11日(土)~4月9日(日) 招待対象=高校生または15歳~18歳の方(学籍または年齢が証明できるものをお持ちください)
カフェ開場時間=火~金15:00~18:00、土・日・祝13:00~18:00 カフェ会場=水戸芸術館現代美術ギャラリー内ワークショップ室
*今年は高校生ウィーク終了後も藤森照信展会期中はカフェを開きます。~5月14日(日)。

赤ちゃんと一緒に美術館散歩

係員やボランティアと一緒に展覧会を鑑賞します。鑑賞に加え、ねもといさむ(子どものアトリエ主宰)と一緒に親子で楽しめるワークショップを実施します。
日時=4月20日(木)、21日(金) 各日10:00~12:00 定員=各日15組(要申込・先着順)
参加費=1000円(展覧会入場料を含む) 対象=未就学児とその保護者
お申込=水戸芸術館現代美術センター Tel.029-227-8120 協力=NPO法人 子育て応援・ペンギンくらぶ

◎ごいっしょに

「東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展」 2017年2月11日(土)~4月2日(日) 茨城県近代美術館 Tel.029-243-5111